

# 朝日駅舎/岩見沢市



## ～石炭運搬と住民生活を支えた駅舎～

地元住民の請願によって1919（大正8）年に開駅。1940（昭和15）年に朝日炭鉱の鉱業権を日本硝子（株）が取得し本格開発を行うとともに、石炭積出駅としての性格を強めていきました。

1954（昭和29）年に朝日炭鉱の経営権が製鉄原料輸送（株）に移り労使協調路線で再建に踏み出したことで出炭量が増加傾向となりました。1955（昭和30）年には選炭機増設工事が行われ、ホッパー（貯炭槽）も木造から鉄骨造になるほど出炭増加に備えた設備投資が行われたことに対応して、1956（昭和31）年に駅舎を改修しました。1974（昭和49）年に朝日炭鉱が閉山し、1978（昭和53）年に無人駅化、1985（昭和60）年万字線廃止に伴い廃駅となりました。

1999（平成11）年、駅舎周辺が万字線鉄道公園として整備されB20形蒸気機関車が東山公園から移設されました。

住所 〒068-3185 岩見沢市朝日町176

公開状況 外観のみ観覧可能

アクセス（自動車） 札幌から約44km 約35分  
【道央自動車道 岩見沢IC降 約15分】

アクセス（公共交通機関） 札幌から約54分  
JR函館本線 岩見沢駅降車～中央バス 旧朝日駅前降車

問い合わせ 岩見沢市建設部公園緑地環境課公園緑地維持係  
電話：0126-23-4111